

第4章 教育・文化・スポーツ 第4節 社会教育

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト		活動実績(H29)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
社会教育課	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	子ども会の異年齢集団による様々な遊びや生活体験・自然体験には、子どもたちが協調性や自己決定能力等を獲得する効果が期待できる。その活動を支える子ども会育成会活動は、地域の人々が子どもの健全育成に携わることを主眼としており、地域の教育力向上に寄与しており、今後も、本事業を通じて子ども会活動を支援していく。	H29年度に改善した点	無	無	
	優先	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	2,170千円	2,080千円	「彩の国21世紀郷土かるた」所沢大会参加者数 5年生インリーダー研修会参加者数	子ども会の会員人数(人)		多くの子どもたちに子ども会活動へ参加してもらえるよう、各小学校区の子どもの会員数を指標とした。	H29目標値が未達成の理由・分析						
	子ども会育成事業	根拠法令 社会教育法、所沢市校区子ども会育成交付金交付要綱、所沢市子ども会育成会連絡協議会補助金交付要綱	H29予算現額 2,097千円	H29決算額(見込み) 2,097千円		実績	H28年度目標 14,600								H28実績 14,434
		事業の具体的な内容及び目的 様々な生活体験・自然体験の機会を充実させ、子どもたちの「生きる力」を育むため、子どもの自主性に基づく地域の子どもの会活動の振興を図るために校区を単位にその支援を行う。また、各校区子ども会育成会相互の連携・情報交換・研修及び広域的な事業を行いながら、各校区子ども会育成会を支援している所沢市子ども会育成会連絡協議会に対しても支援を行う。	H28正規職員人件費 0.52人	H28その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00人	432名 54名	H29年度目標 14,400	H29実績 14,497								
	期間	昭和48年度～	H29正規職員人件費 0.38人	H29その他職員従事割合 非常勤特別職 0.01人		H30年度目標									
			3,224千円	臨時職員 0.00人		14,400人									
社会教育課	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値は上回っており、一定の成果を上げていると考えている。各団体は、キャンプ等の野外活動の実施を中心に様々な活動を行うとともに、市民文化フェアや市民フェスティバル等での奉仕活動など、青少年健全育成への貢献度は高い。また、公民館等で行われる地区文化祭にも積極的に参加しており、地域のコミュニティ機能が変容し、地域の教育力低下が指摘されている中、市内でのボーイスカウト・ガールスカウトの活動意義は大きく、今後も支援を継続していく。	H29年度に改善した点	無	無	
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	180千円	180千円	部隊数 団員加入人数	補助団体の年間事業数(件)		自然・社会体験学習や異年齢交流の場としての事業が活発に行われることを期待して活動を支援しているため、団体の年間事業数を指標とする。	H29目標値が未達成の理由・分析						
	青少年団体活動助成事業	根拠法令 社会教育法、ボーイスカウト補助金交付要綱、ガールスカウト補助金交付要綱	H29予算現額 180千円	H29決算額(見込み) 180千円		実績	H28年度目標 337								H28実績 351
		事業の目的及び具体的な内容 自然・社会体験学習や異年齢交流の場として、市内で活動するボーイスカウト(2団体)及びガールスカウト(2団体)に対して、青少年活動が活発に行われることを期待して、補助金を交付しその活動を支援する。	H28正規職員人件費 0.02人	H28その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00人	18部隊 147人	H29年度目標 365	H29実績 468								
	期間	昭和50年度～	H29正規職員人件費 0.02人	H29その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00人		H30年度目標									
			170千円	臨時職員 0.00人		400									
社会教育課	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	成果指標の目標値は下回っているが、所沢市PTA連合会は、各学校PTA間の連携強化に欠かせない存在であり、また、所沢市連合婦人会は、男女共同参画社会に向けて長年にわたり着実な活動を続けている。両団体とも地域の教育力向上に一定の成果を上げており、今後も活動支援を継続していく必要がある。	H29年度に改善した点	無	無	
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	630千円	630千円	所沢市PTA連合会の会報紙発行部数 所沢市連合婦人会の活動回数	所沢市PTA連合会が主催する教育講演会の参加者数(人)		PTA活動への理解を深めるという目的のもと、所沢市PTA連合会の主要事業である教育講演会の参加人数を指標とする。	H29目標値が未達成の理由・分析						
	社会教育関係団体補助事業	根拠法令 社会教育法、所沢市PTA連合会補助金交付要綱、所沢市連合婦人会補助金交付要綱	H29予算現額 2,337千円	H29決算額(見込み) 2,337千円		実績	H28年度目標 200								H28実績 180
		事業の目的及び具体的な内容 子どもたちの心豊かな健全育成を図るPTA活動の理解を深めるため、市内小中学校等の各学校単位PTAの相互交流・連携・情報交換や研修等を行う所沢市PTA連合会に対し、補助金を交付して活動を支援する。また、女性の地位向上や社会進出、男女平等を目指した学習活動を行うとともに、本市の生涯学習の推進・社会教育の振興及び男女共同参画などにも貢献する所沢市連合婦人会に対し、補助金を交付して活動を支援している。	H28正規職員人件費 0.16人	H28その他職員従事割合 非常勤特別職 0.85人	47,000部 120回	H29年度目標 200	H29実績 165								
	期間	昭和39年度～	H29正規職員人件費 0.16人	H29その他職員従事割合 非常勤特別職 0.99人		H30年度目標									
			1,358千円	臨時職員 0.00人		180									
社会教育課	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値はやや下回っているが、実行委員会が主体となって実施する青少年活動として一定の成果を上げていると考えている。	H29年度に改善した点	無	無	
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	360千円	360千円	小学5・6年生の参加者数 中学・高校・大学生のリーダー参加者数	サマースクールの定員に対する参加率(%)		青少年活動の入口として、より多くの子どもたちに参加してもらいたく、参加率を指標としている。	H29目標値が未達成の理由・分析						
	サマースクール助成事業	根拠法令 社会教育法、所沢サマースクール実行委員会補助金交付要綱	H29予算現額 360千円	H29決算額(見込み) 360千円		実績	H28年度目標 100								H28実績 140
		事業の目的及び具体的な内容 サマースクールは、豊かな自然環境の中で長期宿泊の集団生活を通して、子どもたちの豊かな感性と自立心を養い社会性を身に付けることを目的として開催されている。同事業では、活動の中で中学生・高校生・大学生リーダーが育成されており、青少年健全育成とともに、地域の教育力向上にも貢献している所沢サマースクールに対して、補助金を交付して活動を支援している。	H28正規職員人件費 0.21人	H28その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00人	75人 43人	H29年度目標 100	H29実績 94								
	期間	昭和59年度～	H29正規職員人件費 0.25人	H29その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00人		H30年度目標									
			2,121千円	臨時職員 0.00人		95									

第4章 教育・文化・スポーツ 第4節 社会教育

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト			活動実績(H29)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの
社会教育課	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠			S	成果指標の目標値は上回っており、家庭と学校を取り巻く環境が変化する中でも、社会教育指導員の熱心な指導と各学校の協力により、成果を上げている。家庭教育学級への参加を通して、学校との距離が縮まったとの声も届いており、家庭教育を学ぶ学習の場を提供することにより、保護者相互の交流や学校・保護者・地域のコミュニティ形成、家庭における教育力の向上に貢献していると考えられる。	H29年度に改善した点	無	無
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+ 附加	5,981千円	5,884千円	家庭教育学級の学級生数 家庭教育学級の講座数 啓発リーフレット配布数	1学級あたりの講座実施時間(時間)		「家庭教育学級事業委託要綱」において、委託の条件として、講座実施時間を「おおむね18時間」としているため、目標値とした。							
	家庭教育推進事業	根拠法令	H29予算現額	H29決算額(見込み)		実績	H28年度目標		H28実績						
		教育基本法、社会教育法、家庭教育学級開設委託要綱	5,923千円	5,923千円	18		18.3								
		事業の目的及び具体的な内容	H28正規職員人件費	H28その他職員 従事割合 非常勤 特別職	H29目標値が未達成の理由・分析		H29実績								
	期間	昭和39年度～	4,716千円	0.00人	3003人 383回 6100部	18		18.42		目標達成済					
			H29正規職員人件費	H29その他職員 従事割合 非常勤 特別職		18									
		4,667千円	0.00人		18										
社会教育課	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠			A	成果指標の目標値はやや下回っているが、近年は微増の傾向にあり、地域ごとのきめ細かで温かい開催が成人からも一定の評価を得ていると考える。地域の人たちが新成人を大人として地域に受け入れる式として定着しており、今後も各地区の特性を活かした開催を支援していく。	H29年度に改善した点	無	無
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+ 附加	4,408千円	4,362千円	出席者の合計人数	市全体の出席率(%)		地域の方には成人を祝うためご尽力いただき、地域デビューのきっかけとしても、より多くの成人に出席してもらうため、出席率を指標とした。							
	成人のつどい開催事業	根拠法令	H29予算現額	H29決算額(見込み)		実績	H28年度目標		H28実績						
		国民の祝日に関する法律 成人のつどい実行委員会交付金交付要綱	4,443千円	4,396千円	72		67								
		事業の目的及び具体的な内容	H28正規職員人件費	H28その他職員 従事割合 非常勤 特別職	H29目標値が未達成の理由・分析		H29実績								
	期間	昭和21年度～	0.25人	0.00人	2398人	72		69		毎年、対象者が変わるため、出席率は流動的であるが、近年は微増の傾向にあり、目標値に近づいている。					
			2,144千円	0.00人		72									
		H29正規職員人件費	H29その他職員 従事割合 非常勤 特別職		72										
		0.35人	0.00人		72										
		2,970千円	0.00人												
社会教育課	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠			A	成果指標の目標値は上回っており、参加者への効果は高いものと考えられる。様々な体験を通して、自ら考え「生きる力」を育む子ども会活動はさらに重要になっており、活動を支えるリーダーや育成者を養成する研修会は大きな役割を担っていると期待している。	H29年度に改善した点	無	無
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+ 附加	261千円	187千円	5年生インリーダー研修会の参加者数 子ども会育成者研修会の参加者数	5年生インリーダー研修会の参加者満足度(%)		充実した研修を目指すため、参加者アンケートから満足度を指標とした。							
	青少年教育地域指導者研修事業	根拠法令	H29予算現額	H29決算額(見込み)		実績	H28年度目標		H28実績						
		社会教育法	267千円	162千円	98		98								
		事業の目的及び具体的な内容	H28正規職員人件費	H28その他職員 従事割合 非常勤 特別職	H29目標値が未達成の理由・分析		H29実績								
	期間	昭和52年度～	0.13人	0.00人	54名 50名	98		100		目標達成済					
			1,115千円	0.00人		98									
		H29正規職員人件費	H29その他職員 従事割合 非常勤 特別職		98										
		0.06人	0.01人		98										
		509千円	0.00人												
社会教育課	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠			A	成果指標の目標値は下回っているが、実行委員会が主体となり、多くの事業を通じて子どもたちの健全育成に貢献しており、一定の成果を上げていると考える。学校教育の枠を超えて、子どもたちが自分たちの感性を伸ばせる場をより多く提供できるよう、引き続き支援をしていく。	H29年度に改善した点	無	無
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+ 附加	3,067千円	3,037千円	各事業の開催延べ日数 文学・イラストの応募者人数 事業の参加者延べ人数	市内児童・生徒の事業参加率(%)		事業を通じて多くの子どもたちの成長を促すため、市内児童・生徒数に占める参加率を指標とし、前年度実績以上の参加率を目標値とした。							
	所沢子どもルネサンス開催支援事業	根拠法令	H29予算現額	H29決算額(見込み)		実績	H28年度目標		H28実績						
		社会教育法、 所沢子どもルネサンス実行委員会補助金交付要綱	3,067千円	3,037千円	27		29								
		事業の目的及び具体的な内容	H28正規職員人件費	H28その他職員 従事割合 非常勤 特別職	H29目標値が未達成の理由・分析		H29実績								
	期間	平成2年度～	0.49人	0.00人	39日 2837人 6524人	27		27		より安全面を重視し、会場規模を越えないよう例年よりも定員を減らして開催した事業があったため、減少したと考えられる。					
			4,202千円	0.00人		30									
		H29正規職員人件費	H29その他職員 従事割合 非常勤 特別職		27.5										
		0.53人	0.00人												
		4,497千円	0.00人												

第4章 教育・文化・スポーツ 第4節 社会教育

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト		活動実績(H29)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの		
社会教育課	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	成果指標の目標値も上回っており、野外で絵を描く機会や家族がふれあう場を提供するだけでなく、行政・協賛企業(民間)・実行委員会(ボランティア)・学校の連携によって実施されていることに大きな意義があると評価も高い。近年は大会のみならず、作品展の充実にも力を入れており、全国で2番目に古い写生大会としての歴史のみならず、新たな取り組みを企画する点も大きく評価しており、今後も各方面からの協力をいただきながら、継続して実施していきたい。	H29年度に改善した点	無	無		
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	225千円	225千円	提出された作品数 写生大会の参加者数(子ども) 写生大会の参加者数(高校生・一般)	子どもの作品提出率(%)	参加した子どもたちの多くに絵を描いてもらえるよう、作品の提出率を指標とし、90%を超えることを目標値とする。								
	子ども写生大会開催事業	根拠法令	H29予算現額	H29決算額(見込み)			実績	H28年度目標						H28実績	H29目標値が未達成の理由・分析
		社会教育法、文化芸術振興基本法 所沢市子ども写生大会実行委員会交付金交付要綱	225千円	225千円	1455人 1306人 901人	H29年度目標	H29実績	目標達成済							
		事業の目的及び具体的な内容	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合		H28年度目標	H28実績								
		子どもたちが野外で絵を描くことによって、自然の美しさや物の形のおもしろさに親しみ、美しいと感じる心や表現力を育てることを目的に、西武園ゆうえんち及び株式会社サクラクレパスの協賛を得て、所沢市子ども写生大会を開催する。さらに、入賞作品の展示会や市内小中学校への巡回展を合わせて開催する。	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	H29年度目標	H29実績									
期間	昭和61年度～	0.38人	0.00人	90	93	H30年度目標	90								
		3,224千円	0.00人	90											
社会教育課	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	成果指標の目標値も上回っており、一定の評価を得てはいるが、運営面などの課題が指摘されている。テレビやインターネットなど映像に触れる機会が多い中、実際に公演を見ることで子どもたちの豊かな感受性や想像力を育む場として、また、アマチュア人形劇団の交流と研鑽の場でもある本事業を継続するためにも、実行委員会とともに、よりよい運営に向けて検討を進めていきたい。	H29年度に改善した点	無	無		
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	310千円	310千円	参加団体数 来場者数	来場者の満足度(%)	人形劇の上映を通じて、子どもたちの感受性を育むこと等を目的としているため、来場者アンケート結果を指標とする。								
	ところざわ人形劇フェスティバル開催支援事業	根拠法令	H29予算現額	H29決算額(見込み)			実績	H28年度目標						H28実績	H29目標値が未達成の理由・分析
		社会教育法、ところざわ人形劇フェスティバル実行委員会補助金交付要綱	310千円	310千円	9団体 289人	H29年度目標	H29実績	目標達成済							
		事業の目的及び具体的な内容	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合		H28年度目標	H28実績								
		人形劇を通じて子どもたちの夢や希望・情操を育て、感受性を育み、青少年教育の振興を図ることを目的として開催する人形劇フェスティバルについて、補助金を交付して開催を支援する。	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	H29年度目標	H29実績									
期間	平成4年度～	0.09人	0.00人	100	100	H30年度目標	100								
		764千円	0.00人	100											
視聴覚センター	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	視聴覚センターとしての役割を果たすために、資料の収集や整理、広報を確実に進めていくことで、各学校における授業の充実、教員の研修に役立っている。	H29年度に改善した点	無	無		
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	466	437	16mm映写機 16mmフィルム	16mm映写機及びフィルム	貸出件数								
	視聴覚教材・資材貸出事業	根拠法令	H29予算現額	H29決算額(見込み)			実績	H28年度目標						H28実績	H29目標値が未達成の理由・分析
		所沢市立視聴覚センター設置及び管理条例	216	212	6件 6件	H29年度目標	H29実績	高画質・低価格のビデオプロジェクトが普及し、貸出件数が減少した。							
		事業の具体的な内容及び目的	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合		H28年度目標	H28実績								
		【目的】 視聴覚教材・機材を活用した教育活動の支援 市民の学習意欲に応えるための視聴覚教材・機材の提供 【内容】 視聴覚教材・機材の収集、整備及び貸出し 視聴覚教育についての研修、調査及び研究 視聴覚教育の振興を図るための必要な事業	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	H29年度目標	H29実績									
期間	S57年度～	0.23人	0.00人	40	12	H30年度目標	30								
		1,386千円	0.00人	40											
		1,972千円	0.00人	30											
松井まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標は達成しており一定の成果は上がっている。今後は高齢者や児童などへの事業の拡充を図ると共に、それ以外の年齢層にもニーズに合った事業を充実させていきたい。	H29年度に改善した点	有	無		
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	1,646千円	1,608千円	年間事業数 アンケート回答件数	参加者の満足度割合	主催事業に係る参加人数を基本に、事業に対する満足度を向上させる。								
	松井公民館主催事業	根拠法令	H29予算現額	H29決算額(見込み)			実績	H28年度目標						H28実績	H29目標値が未達成の理由・分析
		社会教育法・所沢市立公民館設置及び管理条例・所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則	1,591千円	1,550千円	27件 665件 617件	H29年度目標	H29実績	目標達成済							
		事業の目的及び具体的な内容	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合		H28年度目標	H28実績								
		市民の学習要求に基づき、実生活に即する教育、学術、文化に関する各種事業を実施することにより、教養の向上、健康増進、生活文化の振興、社会福祉の増進を目的とする。内容は次の通り。職員あるいは市民を交えた企画準備会・実行委員会による事業の企画・立案、運営方法を等を検討する。生涯学習情報紙及び公民館だより、チラシ等を活用して参加者を募集する。事業終了後は、学習記録や参加者の意見、感想等を取りまとめ、次年度へ向けての検討材料とする。	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	H29年度目標	H29実績									
期間	S29～	0.90人	0.00人	100%	90%	H30年度目標	100%								
		7,718千円	0.80人	100%											
		5,091千円	0.80人	100%											

第4章 教育・文化・スポーツ 第4節 社会教育

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響		
			会計	投入コスト		活動実績(H29)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題		有益なもの	有害なもの	
松井まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		C	松井公民館は閉館して今年で32年が経過し老朽化が年々進んできている。施設については、利用者の修繕要望が多く予算の範囲内では対応しきれない。今後は、修繕の緊急性を考慮した上で順位付けを行い、利用者への利便性の向上を図りたい。	H29年度に改善した点 まづくりセンター敷地内の駐車スペースを表示する白線及び身障者用駐車スペースの表示を鮮明に修復したことにより、施設利用者が安全に駐車できるようになった。 また、センター施設2階吹き抜け部分より、幼児等の落下事故の恐れがあるため、落下防止の工事を実施した。 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	無	無		
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	26,468千円	26,344千円	年間利用可能区分数(公民館)	年間施設稼働率		利用者確保のため、施設修繕や安全点検を充実させる。								
	松井公民館施設提供事業	根拠法令	社会教育法・所沢市立公民館設置及び管理条例・所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則	H29予算現額	H29決算額(見込み)	年間延べ利用区分数	H28年度目標		H28実績							
		事業の目的及び具体的な内容	サークルによる各種学習活動の場として施設を提供することによって、住民の知識・教養の向上を図り、生涯学習社会の構築を目指すことを目的とする。施設利用申請にあたっては窓口申請以外にも、公共施設案内・予約システムを導入し、端末やインターネットによる予約が可能になっている。さらに予約システムを再構築し、携帯電話からの予約手続きを可能とするなど、迅速化、効率化を図った。また、利用予約の際は、利用機会の拡大を図るため一定の利用制限を(時間制限)を設けている。	25,540千円	25,963千円		H29目標値が未達成の理由・分析									
		H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	0.55人	0.00人		実績	80%	48%						サークル加入者の高齢化等を理由に、登録を廃止するサークルが増え、利用実績が減少し目標値に達しなかった。また、当センターには茶道専用の茶室があり年間をとおして利用者が極端に少ないのも目標値に達しない大きな理由と思われる。	
		H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	0.65人	0.00人		25,870	H29年度目標	H29実績						80%	
期間	S45年度～		5,515千円	3.20人	12,297	H30年度目標										
富岡まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	事業参加者の全てが満足いく事業が行えなかったが、引き続きアンケート調査を行い、利用者の満足できるような事業を実施していく。	H29年度に改善した点 事業数が減少する中においても新規事業を実施し、多様化するニーズに対応した。 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	有	無		
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	2,738千円	2,636千円	主催事業数(年間事業数) 事業参加者に対するアンケートの実施(アンケート回答件数) アンケート結果の分析(「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数)	参加者の満足度割合(「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数 ÷ アンケート回答件数 × 100)		社会教育法により、多様な需要を踏まえ、これに適切に対応するために必要な学習の機会の提供及びその奨励を行うことにより、生涯学習の振興に寄与することが目的のため、どれだけ参加者が満足した事業を提供できたかを図る。								
	公民館主催事業	根拠法令	社会教育法・所沢市公民館設置及び管理条例・所沢市公民館設置及び管理条例施行規則・所沢市地区体育館条例	H29予算現額	H29決算額(見込み)	年間延べ利用区分数(公民館) 年間利用区分数(公民館) 年間利用区分数(地区体育館)	H28年度目標		H28実績							
		事業の目的及び具体的な内容	市民の学習要求に基づき、教養の向上・健康の増進・生活文化の振興・社会福祉の増進を図るため、実際の生活に即する教育・学術及び文化に関する各種の事業を実施することを目的に、職員サイトによる企画立案、あるいは市民を交えた企画準備委員会・実行委員会等を設置し、事業内容を検討、生涯学習情報紙及び公民館だよりを活用して参加者を募集する。事業終了後は、学習の記録や参加者の意見・感想等をとりまとめ、次年度へ向けての検討材料とする。体育館が併設されている特徴を活かし、健康体操教室や体育事業にも積極的に取り組んでいる。	3,738千円	3,464千円		H29目標値が未達成の理由・分析									
		H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	0.63人	0.45人		実績	100%	93%						目標未達成 利用者の求めるものに答えられなかった。	
		H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	0.90人	0.45人		39事業 456件 405件	H29年度目標	H29実績						100%	
期間	S31年度～		7,637千円	1.25人		H30年度目標										
富岡まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		C	利用者の高齢化に伴い、団体登録しているサークル数が減ってきていることもあり、施設の利用率が上がらなかった。今後は、より利用しやすい施設の仕組みづくりが必要と考える。	H29年度に改善した点 より快適で活動しやすい環境づくりのため施設修繕に取り組み、使いやすい環境を整えた。 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	無	無		
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	25,540千円	23,067千円	年間利用可能区分数(公民館)	年間施設稼働率(公民館)		公民館施設は住民の生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することが目的の施設のため、施設がどれだけ住民に利用されているかを図る。								
	公民館施設提供事業	根拠法令	社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市公民館設置及び管理条例施行規則、所沢市地区体育館条例	H29予算現額	H29決算額(見込み)	年間延べ利用区分数(公民館) 年間利用区分数(公民館) 年間利用区分数(地区体育館)	H28年度目標		H28実績							
		事業の目的及び具体的な内容	集団による各種学習活動の場として施設を適用することにより、住民の知識・教養の向上を図り、生涯学習社会・地域社会の構築することを目的とし、公民館事業に支障のない範囲で、地域・学校・社会教育関係団体等に施設提供を行っている。利用申請方法は、窓口申請・予約システム端末・インターネットによる予約手続きが可能となっている。また、利用予約の拡大を図るため、一定の利用制限(時間制限)を設けている。なお、本公民館の提供する部屋数は、多目的ホールをはじめ11部屋となっている。	27,518千円	26,760千円		H29目標値が未達成の理由・分析									
		H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	0.50人	0.25人		実績	80%	23%						目標未達成 利用サークル数が減ってきていることもあり、部屋の利用率が上がらなかった。	
		H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	0.51人	0.45人		39,658区分 11,180区分 19,378区分	H29年度目標	H29実績						80%	
期間	S45年度～		4,327千円	2.00人		H30年度目標										
小手指まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	概ね目標値に達成しているものの、各事業個別ではバラつきも見られたことから、市民のニーズを把握しより多くの参加者の満足が得られる事業の実施を目指す必要がある。このため、市民を交えた実行委員会を積極的に活用し、より充実した事業を実施するように進めたい。	H29年度に改善した点 アンケート結果及び実行委員等の意見を活かし、事業内容の見直しを行うとともに、新規事業を増やした。 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	無	無		
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	1,069千円	806千円	主催事業	参加者の満足度割合		「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数 ÷ アンケート回答件数								
	公民館主催事業	根拠法令	社会教育法	H29予算現額	H29決算額(見込み)	アンケート結果の分析	H28年度目標		H28実績							
		事業の目的及び具体的な内容	市民の学習要求に基づき、教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため、実際の生活に即する教育・学術及び文化に関する各種事業を実施する。市民を交えた企画準備委員会及び実行委員会を設置し、事業の内容を検討する。広報紙などを利用し、参加者の募集を行う。事業終了後、学習の記録や参加者の意見・感想をまとめ、次年度へ向けての検討材料とする。	1,129千円	792千円		H29目標値が未達成の理由・分析									
		H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	1.40人	2.55人		実績	99%	92%						各事業の参加者に対し、アンケートの提出に協力頂きましたが、回収件数は昨年度より減少した。しかし、「満足」、「ある程度満足」との回答を得た件数は昨年度より増加した。アンケート件数の減少については、H28年度分館で実施した「ぶんぶん特別編」で映画上映を行ったため、参加者増に伴いアンケートが増加したものであり、H29年度はこの事業を事業内容のPRに変更したため件数が減少したと考えらる。	
		H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	1.25人	3.25人		46事業 413件 394件	H29年度目標	H29実績						99%	
期間	S26年度～		10,606千円			H30年度目標										

第4章 教育・文化・スポーツ 第4節 社会教育

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト		活動実績(H29)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
小手指まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	市民の集団学習活動の場として、ある程度の目的達成は果たしているが、目標である施設稼働率は伸び悩んでいる。施設の設備、立地条件など様々な要因が考えられるが、予算の可能な範囲で設備のメンテナンスを行い、安心安全で快適に利用いただけるように施設の充実に努めるとともに、様々な情報発信を心掛ける。	H29年度に改善した点	無	無	
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	26,600千円	21,555千円	年間利用可能区分数(公民館)	年間施設稼働率(公民館)		年間延べ利用区分数÷年間利用可能区分数×100							
	公民館施設提供事業	根拠法令	H29予算現額	H29決算額(見込み)	年間利用区分数(公民館)	年間施設稼働率(公民館)		H29目標値が未達成の理由・分析							
		社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例・同施行規則、所沢市地区体育館条例	20,622千円	20,886千円	年間利用区分数(地区体育館)	年間施設稼働率(公民館)		今年度は、公民館が9月から翌年3月まで空調工事が有った為、年間利用可能区分数が減少した。							
		事業の目的及び具体的な内容	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	実績	H28年度目標	H28実績	H29目標値が未達成の理由・分析							
	期間	昭和45年度～	0.75人	0.20人	5,922区分	80%	49%	今年度は、公民館が9月から翌年3月まで空調工事が有った為、年間利用可能区分数が減少した。							
			6,431千円	0.20人	2,660区分	H29年度目標	H29実績	また、公民館登録団体については、他の公民館へ異動したため、公民館利用率が下がっている。なお、未登録団体の利用も増えていない。							
		0.45人		10,164区分	80%	45%									
		3,818千円	1.10人		H30年度目標		80%								
小手指まづくりセンター分館	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	市民の集団学習活動の場として、ある程度の目的達成は果たしているが、目標である施設稼働率は伸び悩んでいる。小手指公民館分館は立地条件は良いが、駐車場が狭く施設の老朽化が進むとともに、ホールが2室ある一方、小会議室のように6～7名でしか利用できない部屋があり、他の公民館と施設構成が異なることなど様々な要因が考えられる。予算の可能な範囲で設備のメンテナンスを行い、安心安全で快適に利用いただけるように施設の充実に努めるとともに、様々な情報発信を心掛ける。	H29年度に改善した点	無	無	
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	26,598千円	19,669千円	年間利用可能区分数(公民館)	年間施設稼働率(公民館)		年間利用区分数÷年間利用可能区分数×100							
	公民館施設提供事業	根拠法令	H29予算現額	H29決算額(見込み)	年間利用区分数(公民館)	年間施設稼働率(公民館)		H29目標値が未達成の理由・分析							
		社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例・同施行規則、所沢市地区体育館条例	20,363千円	19,639千円	年間利用区分数(公民館)	年間施設稼働率(公民館)		今年度は、公民館が9月から翌年3月まで空調工事が有った為、年間利用可能区分数が減少した。							
		事業の目的及び具体的な内容	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	実績	H28年度目標	H28実績	H29目標値が未達成の理由・分析							
	期間	昭和60年度～	1.25人	0.00人	15,823区分	80%	58%	ホール、音楽ホールがジュータン敷きのため、また小会議室1・2号が6～7名定員と手狭なため、使用用途が限られてしまう。今後、改修等で使いやすい部屋にしていく必要がある。							
			10,719千円	0.20人	9,552区分	H29年度目標	H29実績	ホール、音楽ホールがジュータン敷きのため、また小会議室1・2号が6～7名定員と手狭なため、使用用途が限られてしまう。今後、改修等で使いやすい部屋にしていく必要がある。							
		0.85人			H30年度目標		80%								
		7,212千円	1.90人												
山口まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	新規事業を多く実施し、常に公民館事業に興味をひくよう努力した。アンケート回答数は前年比400%を超え参加者数もほとんどの事業がプラスとなっている。	H29年度に改善した点	有	無	
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	2,383千円	1,923千円	年間事業回数	事業参加者の満足度(事業内容に対してプラス評価を得た件数÷アンケート件数×100)		参加者が充足感を得られているか確認するため、アンケートを実施し、プラス評価の割合が100%となることとした。							
	公民館主催事業	根拠法令	H29予算現額	H29決算額(見込み)	アンケート回答件数	事業参加者の満足度(事業内容に対してプラス評価を得た件数)		H29目標値が未達成の理由・分析							
		社会教育法、市立公民館設置及び管理条例	2,377千円	1,948千円	アンケート回答件数	事業参加者の満足度(事業内容に対してプラス評価を得た件数)		今年度は、公民館が9月から翌年3月まで空調工事が有った為、年間利用可能区分数が減少した。							
		事業の目的及び具体的な内容	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	実績	H28年度目標	H28実績	H29目標値が未達成の理由・分析							
	期間	S22～	0.20人	0.92人	176	100	98	9割以上はプラス評価であり、概ね良好ではある。							
			1,715千円	0.92人	322	H29年度目標	H29実績	プラス評価にしている人がいることも、注意を向ける必要はある。							
		0.35人		303	100	94									
		2,970千円	0.92人		H30年度目標		100								
山口まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	少し稼働率は上昇した。サークル参加者数の底上げも考えていく必要がある。	H29年度に改善した点	無	無	
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	27,227千円	21,533千円	年間利用可能コマ数	年間施設稼働率(年間使用コマ数÷年間利用可能コマ数×100)		施設運営において施設稼働率は最も客観的指標。成果目標は高めの80%に設定していたが、29年度以降は60%に引き下げた。							
	公民館施設提供事業	根拠法令	H29予算現額	H29決算額(見込み)	年間使用コマ数	年間施設稼働率(年間使用コマ数÷年間利用可能コマ数×100)		H29目標値が未達成の理由・分析							
		社会教育法、市立公民館設置及び管理条例	24,384千円	25,057千円	年間使用コマ数	年間施設稼働率(年間使用コマ数÷年間利用可能コマ数×100)		今年度は、公民館が9月から翌年3月まで空調工事が有った為、年間利用可能区分数が減少した。							
		事業の目的及び具体的な内容	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	実績	H28年度目標	H28実績	H29目標値が未達成の理由・分析							
	期間	S45～	0.30人	1.95人	13872	80	47	利用率は6%増えたが、目標に達してはいない。							
			2,573千円	1.95人	7443	H29年度目標	H29実績	利用率は6%増えたが、目標に達してはいない。							
		0.40人			60	53	利用サークルの高齢化や利用者ニーズがとらえきれしていないことが要因。								
		3,394千円	1.95人		H30年度目標		60								

第4章 教育・文化・スポーツ 第4節 社会教育

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響						
			会計	投入コスト		活動実績(H29)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの							
吾妻まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	成果指標の目標値をほぼ達成はしているが、募集定員に達していない事業があるなど、事業の内容や周知方法など改善すべき点はある。また、予算の面から、講師謝礼の費用対効果をさらに考慮しながら事業を組み立てるよう努めていきたい。事業参加者に対するアンケートで「やや不満」「不満など」と回答をいただいた意見を参考に事業内容を見直していきたい。	H29年度に改善した点	有	無						
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	2,360千円	2,099千円	主催事業数 事業参加者に対する5段階評価アンケートの実施	参加者の満足度割合(%) (「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数 ÷ アンケート回答件数 × 100)		市民の学習要求に基づいた講座を展開し、生涯学習社会の構築を目指すことが当該事業の目的となっているため参加者の満足度割合を指標とする。目標値としては、前年より増やすことを目標としたい。							地域コミュニティの推進を図るべく、公民館利用団体に限らず地域で活動する団体にもイベントや講座の協力を仰ぐほか、講座の講師を公民館サークルに依頼するなどサークルの地域貢献に対する取り組みも進めた。					
	公民館主催事業	根拠法令	社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則、所沢市まちづくり条例及び施行規則	H29予算現額		H29決算額(見込み)	アンケート結果の分析	H28年度目標								H28実績		H29目標値が未達成の理由・分析	成果指標の目標値をほぼ達成はしているが、募集定員に達していない事業があるなど、事業の内容や周知方法の改善を進める。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
		事業の目的及び具体的な内容	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	実績			96	99											
		市民の学習要求に基づき各種講座を展開し、市民の知識・教養の向上を図ると共に生涯学習社会の構築を目指す。職員の企画・立案、あるいは市民を交えた企画準備委員会等を設置し、事業内容を検討する。生涯学習情報紙等を利用して参加者を募集する。事業終了後は評価アンケートを実施し、次年度へ向けての検討材料とする。地域コミュニティ関連の事業を中心に講座、イベント等を開催する。	0.30人	0.00人	31															
			H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	734															
	期間	S30年度～	0.40人	0.00人	723		H30年度目標								100		評価者	吾妻まづくりセンター長 比留間 嘉浩		
			3,394千円	0.55人			H30年度実績								100					
	吾妻まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠						B	成果指標の目標値に達成するよう、引き続き貸し出し手続きの改善を図っていききたい。施設設備の経年劣化が起きていることから、計画的に修繕をしながら、利用しやすく、さらなる安全な環境を維持するよう努めていきたい。	H29年度に改善した点	有	無	
		重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	32,200千円	30,524千円	年間利用可能区分数(公民館)	年間施設稼働率(公民館)(%) (年間延べ利用区分数 ÷ 年間利用可能区分数 × 100)		集団による学習活動の場として施設を提供することにより、生涯学習社会の構築を目指すことが当該事業の目的となっているため年間施設稼働率を指標とする。目標値としては、前年より増やすことを目標としたい。											吾妻まづくりセンター内のコミュニティールームは、地域団体等が地域コミュニティ活動を進めていく拠点として設置をしているが、更なる利用活用を図るため、夏の期間中に限り、児童生徒の自主学習を応援するため、コミュニティールームを「あずまっこ自習室」として利用した。
公民館施設提供事業		根拠法令	社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市まちづくり条例及び施行規則	H29予算現額	H29決算額(見込み)		年間利用区分数(公民館)	H28年度目標		H28実績		H29目標値が未達成の理由・分析	高年齢率の高い地域である事と、交通の便が悪い事も有り、夜間の利用が少ないため、稼働率が上がらないことが考えられる。今後も、若年層の利用の拡大が必要である。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み						
		事業の目的及び具体的な内容	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	実績			80	50											
		学習活動の場として施設を提供することにより、市民の知識・教養の向上を図り、生涯学習社会の構築を目指す。施設の利用申請は、公共施設案内・予約システムを導入し、インターネットの利用も可能となっている。利用予約の際は、特定の団体の独占を回避し、市民の利用拡大を図るため、一定の利用制限(時間制限)を設けている。	0.60人	0.00人	35,838															
			H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	18,993															
期間		S46年度～	0.60人	0.00人	80		H30年度目標			80		評価者	吾妻まづくりセンター長 比留間 嘉浩							
			5,091千円	2.85人			H30年度実績			80										
柳瀬まづくりセンター		実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	参加者満足度の高い講座について、運営方法等を検討し、更に効率よく開催が出来るように見直しを行っている。	H29年度に改善した点	有						無
		重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	3,219千円	2,695千円	主催事業 事業参加者に対する5段階評価アンケートの実施	参加者の満足割合		事業参加者の満足割合から、实际生活に即する教育、学術及び文化に関する各種事業を、企画・立案し開催できているか、推し量るもの。											
	公民館主催事業	根拠法令	社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則	H29予算現額	H29決算額(見込み)		アンケート結果の分析	H28年度目標		H28実績					H29目標値が未達成の理由・分析	H29年度の参加者の満足割合は96%で、目標の100パーセントに達しなかったが、年間27事業を行いこの結果になったことは、講座の内容について参加者から一定の評価を得られたと考えられる。次年度については、さらに満足度を上げられるよう事業内容について検討を重ねる。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			
		事業の目的及び具体的な内容	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	実績			100	99											
		職員による事業の企画・立案、あるいは市民・公民館利用団体を交えた企画準備会または実行委員会により、事業の企画・立案、運営方法等を検討する。	0.91人	0.70人	年間事業数 27															
			H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	アンケート回答件数 274															
	期間	S46年度～	0.91人	0.70人	「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数 264		H30年度目標			100						評価者	柳瀬まづくりセンター長 橋本 浩志			
			7,721千円	0.40人			H30年度実績			97										
	柳瀬まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠						A	施設設備が傷み、修繕・買い替えが必要な箇所があり、引き続き利用者に安全で快適に施設を利用してもらうため、最低限現状どりの予算の確保が必要である。	H29年度に改善した点	無	無	
		重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	27,947千円	25,036千円	年間利用可能区分数(公民館)	年間施設稼働率(公民館)		前年度実績をもとに、集団による各種学習の場として適切な施設提供を行い、より多くの地域住民が学習の場として利用できるよう、目標を設定する。											
公民館施設提供事業		根拠法令	社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則	H29予算現額	H29決算額(見込み)		年間利用区分数(地区体育館)	H28年度目標		H28実績		H29目標値が未達成の理由・分析	活動休止となったサークルがあり、利用日数が減ったため、また、改修工事のため、11月から12月にかけて昇降機が使用できず、その期間活動を休止していたサークルがあったため。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み						
		事業の目的及び具体的な内容	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	実績			40	33											
		集団による各種学習の場として施設を提供することによって、住民の知識・教養の向上を図り、生涯学習の構築を目指す。	0.60人	0.30人	13,870															
			H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	4,913															
期間		S46～	0.60人	0.30人	13,240		H30年度目標			40		評価者	柳瀬まづくりセンター長 橋本 浩志							
			5,091千円	2.70人			H30年度実績			40										

第4章 教育・文化・スポーツ 第4節 社会教育

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響			
			会計	投入コスト		活動実績(H29)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの			
三ヶ島まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	事業については、利用者から高い満足度を得ているが、アンケート等の結果を踏まえて、参加者の声により耳を傾けて行く。また、参加者を企画の中に取り込んでいく等、地域住民が一体となった事業運営に心掛けていく。	H29年度に改善した点		有	無		
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	3,817千円	3,666千円	実施事業数	参加者の満足度割合		主催事業に対する参加者の満足度の向上を図る。				参加者の募集にホットメール等を積極的に活用した。					
	公民館主催事業	根拠法令	社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理規則	H29予算現額	H29決算額(見込み)	アンケート実施件数	H28年度目標		H28実績			H29目標値が未達成の理由・分析				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
		事業の目的及び具体的な内容	市民の学習要望に基づき、地域特徴等を生かした主催事業を開催し、地域住民の生活・文化・芸術・社会福祉等の向上及び推進を図る。職員による事業の企画・立案あるいは市民を交えた企画準備会等により、事業の企画・立案を行う。事業終了後の学習の記録や参加者の意見、感想等は次年度講座の参考とする。生涯学習情報紙及び公民館だより・チラシ等を活用して参加者を募集する。各団体や公共施設からの情報を提供する。	3,877千円	3,558千円	満足度及びある程度満足と回答を得た件数及びその割合	H29年度目標		H29実績			昨年度実施した29の主催事業の中で、10事業が100%の満足度を得ており、他の事業についても80%以上の満足度であった。アンケート結果を基に、より良い事業を展開していく。				今後、地域住民が企画した事業の実施と、地域の人材育成に繋がる事業を企画し、実施していく。	
		期間	S30年度～	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	実績	H30年度目標		H29目標値が未達成の理由・分析			評価者					
				0.90人	0.50人	29事業 944件 912件	100%		98%			三ヶ島まちづくりセンター長 森澤 宣行					
		7,718千円	1.25人		100%		97%										
		0.95人	0.50人		100%												
		8,061千円	1.25人		100%												
三ヶ島まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	市民の各種学習活動の場として、安心安全な施設を提供するとともに高齢者だけでなく若年層にも情報を発信して、利用者の幅を広げていく。	H29年度に改善した点		無	無		
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	26,392千円	19,497千円	年間利用可能区分数(公民館)	年間施設稼働率		施設の稼働率は集団による各種学習活動の場として、適切な場であるか否かの大きな成果指標となる。				ロビー照明器具のLED化を図ったことにより、ロビー全体で従来より明るさが増し、より利用しやすい環境になった。					
	公民館施設提供事業	根拠法令	社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理規則	H29予算現額	H29決算額(見込み)	年間利用区分数(公民館)	H28年度目標		H28実績			H29目標値が未達成の理由・分析				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
		事業の目的及び具体的な内容	サークル等による各種学習活動の場として、施設を提供することにより、住民の知識・教養の向上と会員相互の親睦を図る。施設の点検管理と施設の提供・受入準備、施設利用時の使用料及び鍵・備品等の対応、利用者の公共施設予約システム入力の手続き補助。作品発表等の場としての公民館ロビーの提供。	23,345千円	22,247千円	年間利用区分数(体育館)	H29年度目標		H29実績			和室及び調理室の稼働率が低く、全体の稼働率を押し下げている。利用者の高齢化が一つの原因と考えられる。				施設の老朽化が進んでいるなかで、空調設備の改修や各所の修繕を行い、利用しやすい施設の維持管理に努める。	
		期間	S48年度～	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	実績	H30年度目標		H29目標値が未達成の理由・分析			評価者					
				0.50人	0.50人	13,892区分 6,142区分 20,373区分	80%		45%			三ヶ島まちづくりセンター長 森澤 宣行					
		4,288千円	1.75人		80%		44%										
		0.60人	0.50人		80%												
		5,091千円	1.75人		80%												
新所沢まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	公民館利用者との共催事業(夏フェス)、中学生職場体験時のサークル取材など、公民館利用者との共催で様々な学習文化活動の体験会が定着しつつある。また、広報講座の対象を、PTAから地区広報担当者まで広げたことにより、地域で活動する団体への支援の場となった。	H29年度に改善した点		有	無		
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	3,954千円	3,751千円	年間事業数(回数)	参加者の満足度割合(「満足度」及び「ある程度満足」の回答を得た件数×100)		全ての講座で参加者の満足度を上げることを目標としたい。				子育て講座の参加者の減少について検討し、地区内の児童館・幼稚園(プレ入園)に参加者が多いことが判明。誰でも参加しやすい講座づくりを目指して、対象年齢の引き下げ、連続講座から単発講座に変更し、昨年度より多くの親子に参加していただいた。					
	公民館主催事業	根拠法令	社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則、所沢市地区体育館条例	H29予算現額	H29決算額(見込み)	事業参加者数(延べ人数)	H28年度目標		H28実績			H29目標値が未達成の理由・分析				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
		事業の目的及び具体的な内容	地域課題と市民の学習要求に基づき、教育の向上、健康の促進、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため、実際に生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を実施する。	3,925千円	3,612千円	実績	H29年度目標		H29実績			目標達成済				地域内の各種公的機関がそれぞれ新所沢地区に向けてどのような学習機会を提供しているかを見定め、重複する領域、不足している領域について整理し、事業の再構成を進めていく。	
		期間	S47年度～	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	163	H30年度目標		H29目標値が未達成の理由・分析			評価者					
				1.00人	0.50人	11,409	90%		91%			センター長 澤田 孝男					
		8,575千円	1.05人		92%		92%										
		0.75人	0.50人		92%												
		6,364千円	1.05人		92%												
新所沢まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	施設の有効活用に向け、見直し・改善はされている。引き続き地域団体の活動を支援していくべく施設の有効活用を努めてもらいたい。	H29年度に改善した点		無	無		
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	28,728千円	29,502千円	公民館年間利用可能区分数	年間施設稼働率(年間利用件数÷年間利用可能件数×100)		地域の自主的かつ非営利的に活動する団体を支援するとともに施設の有効活用を進める。目標値としては、前年より増やすことを目標としたい。				公民館使用申請書の見直しを行ったことにより、職員の事務処理の効率化を図ることが出来た。					
	公民館施設提供事業	根拠法令	社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則、所沢市地区体育館条例	H29予算現額	H29決算額(見込み)	公民館年間利用区分数	H28年度目標		H28実績			H29目標値が未達成の理由・分析				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
		事業の目的及び具体的な内容	集団による各種学習文化活動の場を提供し、住民の学び合い・支え合い・学習成果の地域還元を促進し、地縁と知縁による地域コミュニティを豊かにすること。そのような活動をする公民館登録団体を育成すること。	26,931千円	30,191千円	実績	H29年度目標		H29実績			目標値としては未達成だが、実績値は、前年度と同様であった。引き続き、地域団体の支援とともに、施設の有効活用を進めていきたい。				施設提供にあたっては、事故のないよう施設の安心安全に務める。また、地域の自主的かつ非営利的に活動する団体の活動を支援するとともに、さらに施設の有効な活用を図るため、貸し出し手続き事務の改善を考えていく。	
		期間	S47年度～	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	25,869	H30年度目標		H29目標値が未達成の理由・分析			評価者					
				1.45人	0.50人	16,954	65		66			センター長 澤田 孝男					
		12,434千円	1.95人		68		66										
		0.70人	0.50人		66												
		5,940千円	1.95人		66												

第4章 教育・文化・スポーツ 第4節 社会教育

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト		活動実績(H29)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
新所沢東まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	事業の参加状況・満足度は良好であり、地域の要望に沿った講座の企画もできてきている。今後も多様な社会状況により、時代に沿った講座の企画が求められていくと思う。そのため、これからも公民館が重要な位置付けであることを認識し、改善の意識をもって取り組んでいく。	H29年度に改善した点	無	無	
	重要	■自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	2,068千円	1,825千円	主催事業 事業参加者のアンケート回答件数 アンケートで「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数	参加者の満足度割合		('満足'及び'ある程度満足'と回答を得た件数 ÷ アンケート回答件数 × 100)							
	公民館主催事業	根拠法令 社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則、所沢市まちづくり条例及び施行規則	H29予算現額	H29決算額(見込み)		2,130千円	1,729千円	H28年度目標							H28実績
		事業の目的及び具体的な内容	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	1.05人		実績	100	98						アンケートで「満足」及び「ある程度満足」以外の回答をした方の多くは、もう少し講座の時間が長いと良かったと回答している方が多かった。講師の時間の制約上、講座の時間を長くすることは難しいが、限られた時間の中で参加者を満足させられるように資料の工夫などで講座の充実度を図りたい。
	目的 市民の学習要求に基づき、教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を実施。	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	9,004千円	1.00人	32事業	H29年度目標	H29実績	100						97
	具体的内容 職員による事業の企画・立案あるいは市民を交えた企画準備会または実行委員会により、事業の企画・立案・運営方法を検討する。	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	0.70人		468件	H30年度目標								
	期間	S52年度～	5,940千円	0.80人	455件	100									
新所沢東まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		C	利用する時間帯が集中し、全体の稼働率は低くなっている。そのため、今後も空いている時間帯の周知などを徹底していく。また、施設が老朽化しているため、適宜、可能な範囲で修繕を行い利用しやすい公民館を目指し、努力していく。	H29年度に改善した点	無	無	
	重要	■自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	21,817千円	15,127千円	年間利用可能区分数(公民館)	年間施設稼働率(公民館)		年間延べ利用区分数 ÷ 年間利用可能区分数 × 100							
	公民館施設提供事業	根拠法令 社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市まちづくり条例及び施行規則	H29予算現額	H29決算額(見込み)	年間利用区分数(公民館)	H28年度目標		H28実績							H29目標値が未達成の理由・分析
		事業の目的及び具体的な内容	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	0.55人		実績	80	46						利用団体の使用したい曜日・時間帯が集中しているため、利用団体が少ない夜の時間帯は比較的空いていることが多い。反対に、人気のある曜日・時間帯は利用したい時間が重なり、利用できない団体も出てきている。団体同士で希望する曜日・時間帯が重なることは、致し方ないことではあるが、稼働率が低くなっている要因になっているのが現状である。
	目的: 集団による各種学習活動の場として施設を提供することによって、住民の知識、教養の向上を図り、生涯学習の構築を目指す。 内容: 平成18年10月から新公共施設予約システム稼働し、窓口以外にロビー端末機・インターネット・携帯電話による利用予約手続きができ、利用申し込みも24時間可能となっている。利用予約の際は、利用機会の拡大を図るため、一定の利用制限(時間制限)を設けている。	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	4,716千円	2.00人	19473	H29年度目標	H29実績	80						46
	期間	S52年度～	1.10人	9,334千円	2.20人	8907	H30年度目標								
	所沢まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠						B
重要		自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	1,532千円	1,384千円	主催事業数	事業参加者の満足度('満足'及び'ある程度満足'と回答を得た割合)		地域課題や市民の学習要求に基づく事業実施を目的としているため、事業参加者の満足度を指標とする。							
公民館主催事業		根拠法令 社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例	H29予算現額	H29決算額(見込み)	アンケート回答数	H28年度目標		H28実績		H29目標値が未達成の理由・分析					
		事業の目的及び具体的な内容	1,532千円	1,494千円	「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数	H28年度目標		H28実績		H29目標値が未達成の理由・分析					
地域課題と市民の学習要求に基づき、教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を実施する。		H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	0.85人		実績	95	90	参加者の期待を十分には満たすことができなかったことによる。						
目的: 地域課題と市民の学習要求に基づき、教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を実施する。		H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	7,289千円	1.65人	21	H29年度目標	H29実績	95	93					
期間		S28年度～	0.80人	6,788千円	1.45人	640	H30年度目標								
所沢まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	中心市街地に所在し、登録団体数も300を超える状況にあるが、高齢化が進み、継続的な活動の維持が難しくなっている団体も見られる。年間稼働率も目標値には達していないことから施設提供のあり方について今後研究が必要である。	H29年度に改善した点	無	無	
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	49,464千円	49,736千円	年間利用可能区分数	年間施設稼働率(年間利用区分数 ÷ 年間利用可能区分数 × 100)		施設提供を通じて、住民の学びあい、さらには地域づくりの場を目指すため、施設稼働率を指標とする。							
	公民館施設提供事業	根拠法令 社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例	H29予算現額	H29決算額(見込み)	年間利用区分数	H28年度目標		H28実績							H29目標値が未達成の理由・分析
		事業の目的及び具体的な内容	62,407千円	62,521千円		H28年度目標		H28実績							H29目標値が未達成の理由・分析
	集団による各種学習活動の場として施設を提供することにより、住民の学びあいを支援し、学習活動を通じた地域づくりの場を目指す。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	0.90人		実績	80	66	・地域住民に公民館の利用方法の認知が進んでいない可能性がある。 ・利用希望の部屋と曜日が重複することがある。 ・登録団体はwebにて施設予約が可能だが、そのほかの団体は、事前に窓口に向いての利用申請の必要があるなど利便性が低い。						
	目的: 集団による各種学習活動の場として施設を提供することにより、住民の学びあいを支援し、学習活動を通じた地域づくりの場を目指す。	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	7,718千円	3.55人	25,772	H29年度目標	H29実績	70						64
	期間	S28年度～	0.90人	7,637千円	3.25人	16,607	H30年度目標								

第4章 教育・文化・スポーツ 第4節 社会教育

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト			活動実績(H29)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの
所沢図書館	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	年間貸出利用者数 年間貸出数	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	店舗側の事情により取次終了となった店舗があったため、全体の実績は減となったが、3店舗では貸出数が増加している。また、小手指地区において、平成29年10月より公民館分館での図書等の取次ぎを開始し、好評を得ていることから、市民の本事業に対する期待は高いと考える。今後も非来館型サービスの拡充、広報等の充実に努め、更なる利用拡大を図る。	H29年度に改善した点	無	無		
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	9,537千円	8,208千円			年間貸出数	年間貸出数						目標設定の考え方・根拠	市民が、コンビニエンスストア図書等取次サービスを活用していることを示す数値として年間貸出数を指標とする。過去5年間で利用が活発であった年度の数値を目標とし、事業の拡大を図りたい。
	コンビニエンスストア図書等取次事業	根拠法令	H29予算現額	H29決算額(見込み)			年間貸出数	年間貸出数						目標設定の考え方・根拠	市民が、コンビニエンスストア図書等取次サービスを活用していることを示す数値として年間貸出数を指標とする。過去5年間で利用が活発であった年度の数値を目標とし、事業の拡大を図りたい。
		図書館法、所沢市立所沢図書館設置条例、同施行規則	9,646千円	9,363千円			年間貸出数	年間貸出数						目標設定の考え方・根拠	市民が、コンビニエンスストア図書等取次サービスを活用していることを示す数値として年間貸出数を指標とする。過去5年間で利用が活発であった年度の数値を目標とし、事業の拡大を図りたい。
		事業の目的及び具体的な内容	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合			実績	H28年度目標						H28実績	H29目標値が未達成の理由・分析
		図書館の開館時間内の利用や来館が困難な市民等に対し、コンビニエンスストアで図書等の取次を行い、図書館利用の拡大を図る。インターネット、図書館窓口、館内OPAC等から図書等の予約を受け付け、用意できた際に、電子メール又は電話にて連絡し、貸出処理をして取次店へ配送。利用者は、当該予約図書等を取次店で受取・返却できる。	0.76人	0.00人			36,497人	85,000点						68,443点	H29目標値が未達成の理由・分析
期間	平成17年～	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	36,497人	H29年度目標	H29実績	平成30年1月に、駅から近く取扱い数の多かったコンビニエンスストア1店舗が、閉店によりサービス終了となったため。	85,000点	49,379点	現状の課題	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み				
		4,802千円	3.45人	49,379点	H30年度目標			88,300点		取次店舗拡大を図るため、コンビニエンスストア本社及び店舗との交渉をすすめる。また、更なるサービス拡大に向け、取次業務が可能な施設等の調査研究をすすめる。					
										評価者					
										所沢図書館長 中村まさみ					
所沢図書館	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	子ども向け行事参加者数 学校関連団体貸出数	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標値をほぼ達成しており、平成29年度は乳幼児とその保護者、学校等を中心に周辺機関との連携と利用拡大をすすめた。今後は、第2次計画の課題を踏まえて第3次所沢市子どもの読書活動推進計画の策定に向けて努めていきたい。	H29年度に改善した点	無	無		
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	2,333千円	2,116千円			子ども向け行事参加者数	児童資料貸出数(年間児童資料貸出数)						目標設定の考え方・根拠	過去5年間で最も高い平成24年の貸出実績が511,624冊であったことから、この数値を目標とし、サービスの維持・向上を図る。
	子どもの読書活動推進事業	根拠法令	H29予算現額	H29決算額(見込み)			子ども向け行事参加者数	児童資料貸出数(年間児童資料貸出数)						目標設定の考え方・根拠	過去5年間で最も高い平成24年の貸出実績が511,624冊であったことから、この数値を目標とし、サービスの維持・向上を図る。
		図書館法、所沢市立所沢図書館設置条例、同施行規則	2,446千円	2,469千円			子ども向け行事参加者数	児童資料貸出数(年間児童資料貸出数)						目標設定の考え方・根拠	過去5年間で最も高い平成24年の貸出実績が511,624冊であったことから、この数値を目標とし、サービスの維持・向上を図る。
		事業の目的及び具体的な内容	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合			実績	H28年度目標						H28実績	H29目標値が未達成の理由・分析
		子ども達が読書の楽しみを知り、自主的に読書活動を行うことができるよう、「第2次所沢市子どもの読書活動推進計画」に基づいて子ども向け事業、学校との連携事業等を実施し、利用の拡大を図る。子どもの読書活動推進連絡会の開催 おはなし会・かがくあそび等子ども向け行事の開催 一般向け普及・啓発事業の開催 学校との連携事業の実施 小中学生・保護者に読書アンケートの実施 学校業務連絡便の運行 ブックリスト「本がいっぱい」の発行、小中学校への配布 子ども向け広報紙の発行	1.89人	0.80人			14,977人	512,000冊						484,510冊	H29目標値が未達成の理由・分析
期間	昭和39年～	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	14,977人	H29年度目標	H29実績	対象年齢層の人口減少や図書館システム更新のため、全館で16日間休館したことなどから、年間貸出数が減少したため。	512,000冊	468,232冊	現状の課題	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み				
		11,062千円	2.4人	21,800冊	H30年度目標			512,000冊		第2次所沢市子どもの読書活動推進計画を総括するとともに、第3次子どもの読書活動推進計画の策定をすすめる。					
										評価者					
										所沢図書館長 中村まさみ					
所沢図書館	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	登録者総数(前年の登録者総数+年間登録者数-年間抹消者数) 年間貸出利用者数 年間貸出数	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標値は、ほぼ達成しており、魅力ある事業の展開、広報活動への積極的な取り組みや、地域との連携、市民協働の「図書館まつり」などを開催し、図書館への興味・関心の喚起に努めた。	H29年度に改善した点	無	無		
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	11,563千円	10,729千円			登録者総数(前年の登録者総数+年間登録者数-年間抹消者数)	貸出密度(人口1人当たりの貸出数)						目標設定の考え方・根拠	図書資料等の貸出は、市民に活発に利用されていることを示す指標の一つであることから、貸出密度を指標とする。年間貸出数を当該年度の人口で割り、1人当たりの貸出数を算出。人口30万人以上、40万人未満の市立図書館119館の人口1人当たりの平均貸出数5.0冊を参考に、実績から目標値を設定し、事業拡大を図りたい。
	図書館利用推進事業	根拠法令	H29予算現額	H29決算額(見込み)			登録者総数(前年の登録者総数+年間登録者数-年間抹消者数)	貸出密度(人口1人当たりの貸出数)						目標設定の考え方・根拠	図書資料等の貸出は、市民に活発に利用されていることを示す指標の一つであることから、貸出密度を指標とする。年間貸出数を当該年度の人口で割り、1人当たりの貸出数を算出。人口30万人以上、40万人未満の市立図書館119館の人口1人当たりの平均貸出数5.0冊を参考に、実績から目標値を設定し、事業拡大を図りたい。
		図書館法、所沢市立所沢図書館設置条例、同施行規則	11,753千円	10,691千円			登録者総数(前年の登録者総数+年間登録者数-年間抹消者数)	貸出密度(人口1人当たりの貸出数)						目標設定の考え方・根拠	図書資料等の貸出は、市民に活発に利用されていることを示す指標の一つであることから、貸出密度を指標とする。年間貸出数を当該年度の人口で割り、1人当たりの貸出数を算出。人口30万人以上、40万人未満の市立図書館119館の人口1人当たりの平均貸出数5.0冊を参考に、実績から目標値を設定し、事業拡大を図りたい。
		事業の目的及び具体的な内容	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合			実績	H28年度目標						H28実績	H29目標値が未達成の理由・分析
		市民に、図書館に親しみをもって有効に利用してもらうため、インターネット及び広報等で情報を広く提供し、読書活動の推進及び利用の拡大を図る。図書館のホームページ、「今月の図書館」等広報紙を発行し、図書館の事業や利用案内等の情報を利用者に周知する。講演・講座、図書館まつり(年1回)等の催しを開催する。季節やテーマに応じた、図書資料の紹介・展示を行う。他の公共施設や地域に対し共同事業等を実施し、連携を図る。	4.34人	0.20人			112,345人	5点						4.9点	H29目標値が未達成の理由・分析
期間	昭和39年～	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	112,345人	H29年度目標	H29実績	図書館の開館時間内の利用や来館が困難な市民等に対して実施している、コンビニエンスストア図書等取次事業において、平成30年1月に、駅から近く取扱い数の多かったコンビニエンスストア1店舗が、閉店によりサービス終了となったため。また、平成30年2月の図書館電算システム更新のため、全館において16日間の貸出サービス停止期間があったことにより年間貸出数が減少したため。	5点	4.7点	現状の課題	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み				
		28,812千円	5.45人	1,604,514点	H30年度目標			5点		図書館への興味・関心を喚起する魅力ある事業の展開、広報活動への積極的な取り組みを通じ、関連施設や地域に働きかけ、利用促進を図る必要がある。現在実施している事業の拡充に努め、非来館型サービス及び高齢者社会に向けたサービスへのさらなる取り組みについて検討していく。魅力ある図書館づくりを目指す。					
										評価者					
										所沢図書館長 中村まさみ					

